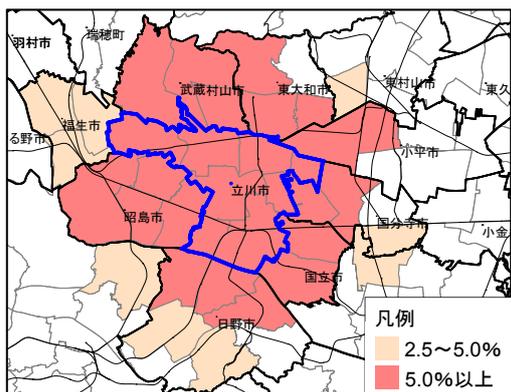


自立都市圏としての「立川都市圏」

立川をとりまく活動実態の分析結果から、立川市と近隣市を含む一体的な活動圏域が形成されていることがわかりました。

そのため、立川市への依存度が比較的高い地域を自立的な活動が行われる圏域と捉え、本マスタープランでは、以下に示す概ねの範囲を自立性が高い都市圏（立川都市圏）と考えることとします。

立川都市圏は隣接市を含む範囲で行き来する活動を行いつつ、相互に連携しながら都市圏が形成されていると考えられます。



立川市への依存度(全目的、小ゾーン)
 (各ゾーンの発トリップのうち、立川市を着地とするトリップの割合)

各ゾーンの発トリップのうち、立川市を着地とするトリップの割合が5%以上のゾーンを立川都市圏と定義する

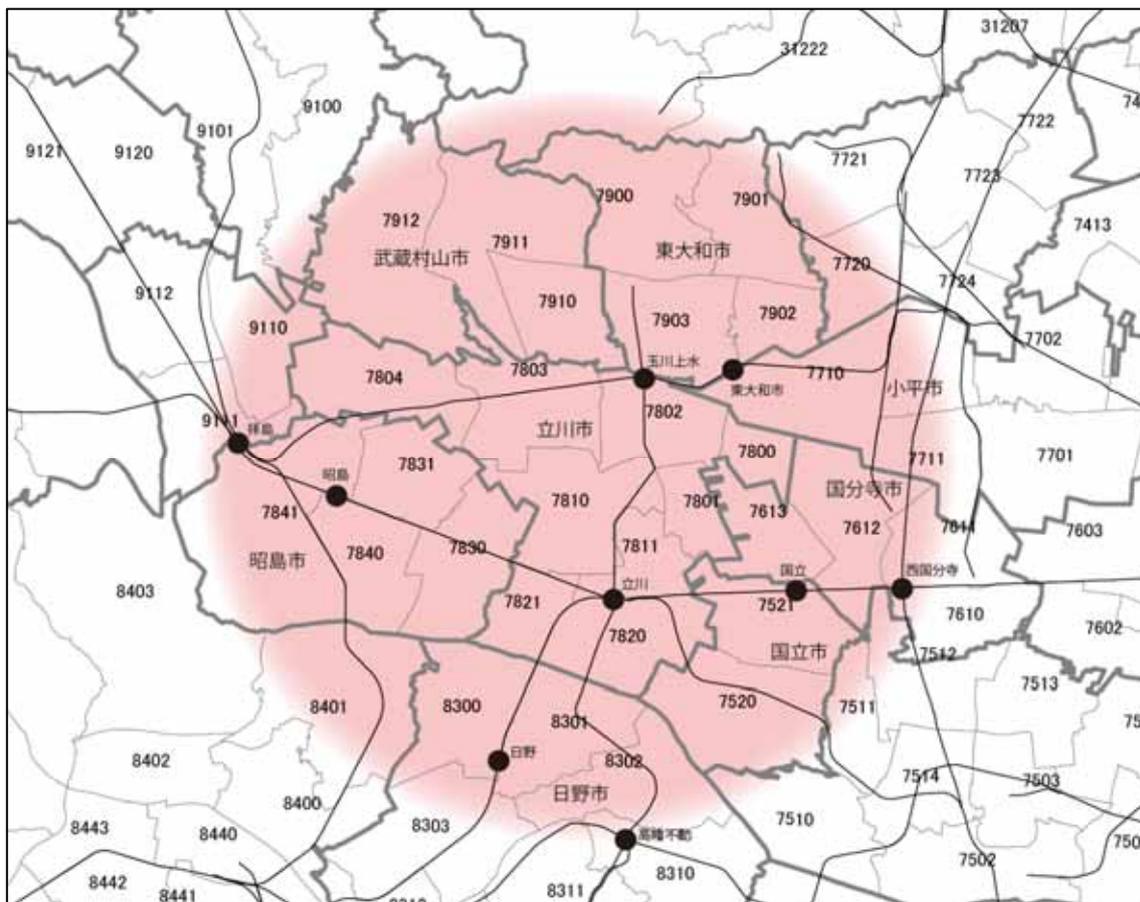


図 3-15 立川都市圏の範囲

資料：東京都市圏 PT 調査 (H20)

※図中の番号はPT調査におけるゾーン番号を意味する

《活動の場とその後背圏の関係整理（活動種類別）》

ここでは東京都市圏PT調査結果より明らかとなった目的別の「活動の場」と「後背圏」の関係をイメージ化しました。

- ・集中トリップ密度*が高い地域を「活動の場」としました。
- ・「活動の場」を着地としたトリップの発生量が多い地域を「後背圏」としました。
- ・立川都市圏における「活動の場」と「後背圏」の関係をイメージ化しました。
- ・この時、「活動の場」と「後背圏」はセットであるため、対応するもの同士を同系色で表示しました。
- ・「活動の場」における集中トリップの密度の規模に応じて「活動の場」の大きさを変えて表示しました。

※ トリップ数はゾーンの面積が大きいほど多くなりますので、単位面積当たりのトリップ数（密度）による分析結果をもとに図化しました。

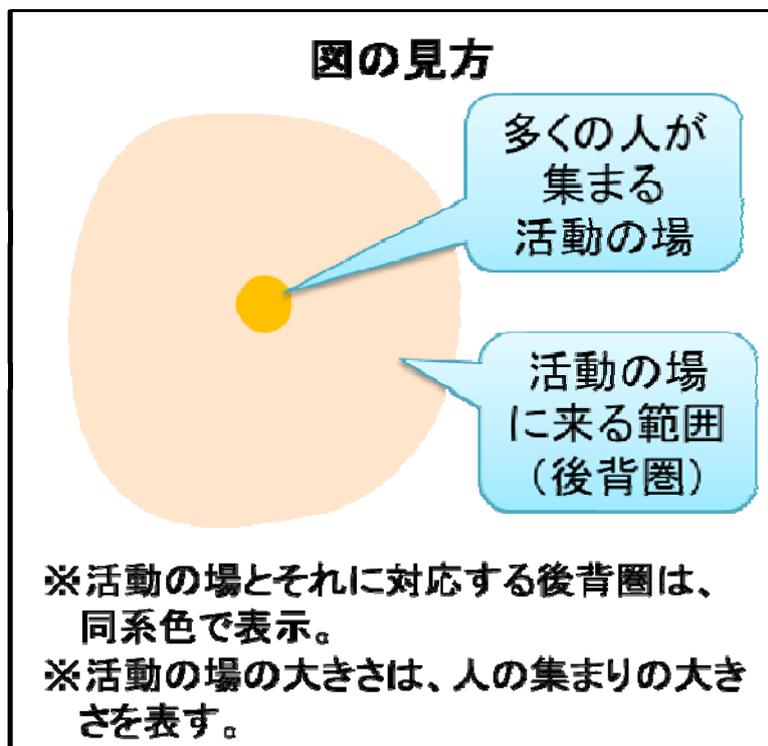
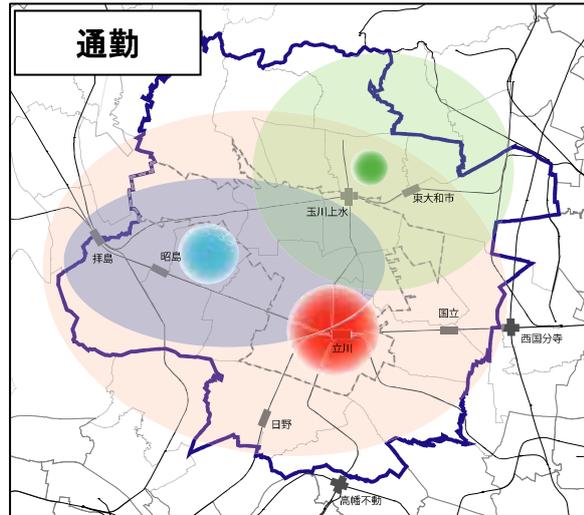


図 3-16 圏域構造図の見方

通勤

立川都市圏における主要な就業地は、立川駅南北地域、昭島駅北部地域、東大和市南西部地域となっています。

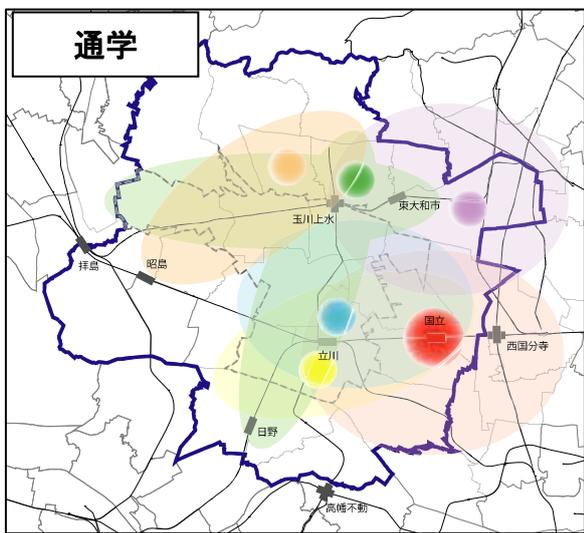
このうち、立川駅南北地域は、立川都市圏の主要な就業の場として機能しています。昭島駅北部地域及び東大和市南西地域は、二次産業の事業所が集積しています。



通学

教育施設等の集積が特に大きいのは一橋大学等がある国立駅南部地域であり、それ以外の活動の場として、立川駅周辺地域、小平市西部地域、東大和市南西部地域、武蔵村山市南東部地域があります。

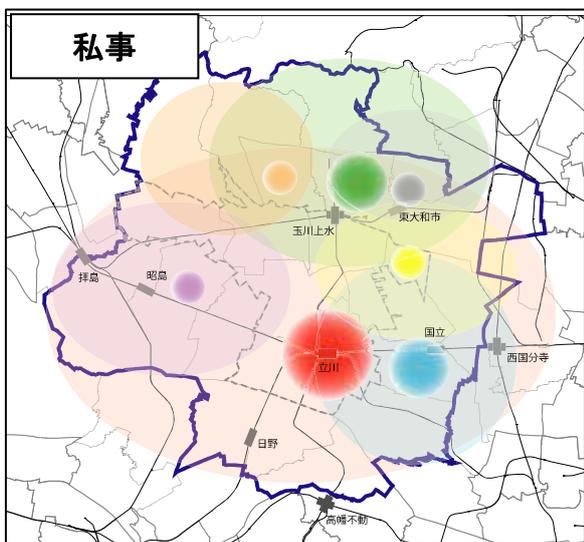
これら集積が高い地域に通学する人の居住地は、通勤目的よりも狭いことが特徴です。また、東大和市南西部地域で活動する人は、鉄道軸に沿って居住する人が集まっています。



私事

自宅発の私事目的では、主要な活動の場として立川駅南北地域、国立駅南部地域、東大和市南西部地域があり、さらに昭島駅北部地域、武蔵村山市南東部地域、東大和市南東部地域、若葉町地域が存在します。

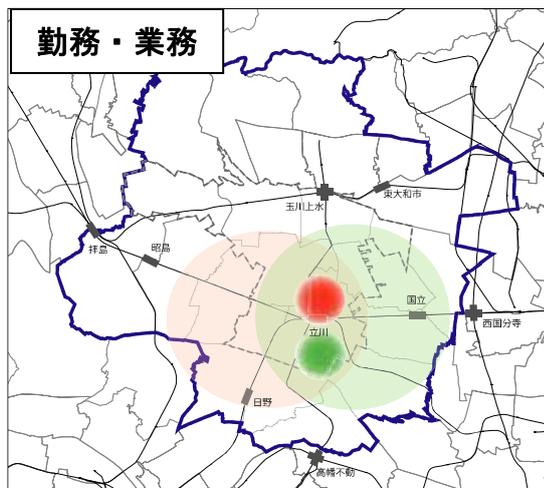
立川駅南北地域が立川都市圏全域をほぼカバーしており、その他の地域が、周辺地域をカバーする構造になっています。若葉町地域での活動が多いのも特徴的です。



勤務・業務

勤務地からの外出・出張等の勤務・業務目的では、主要な活動の場として立川駅南北地域があります。

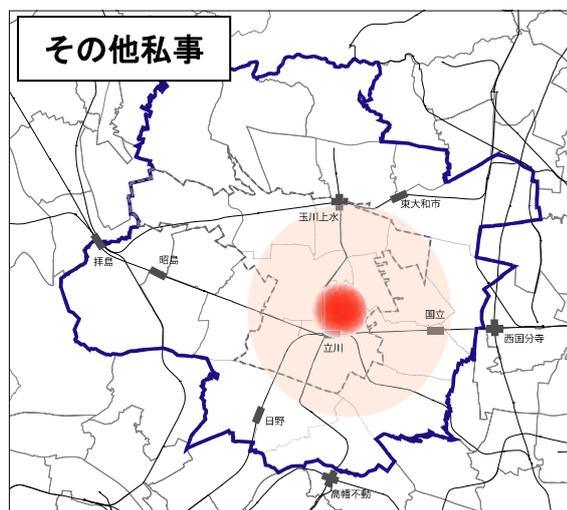
この地域には業務機能・商業機能が集積しており、活動の後背圏は立川市南部地域、昭島市東部地域、国立市西部地域の広い範囲になっています。



その他私事

自宅以外の外出先や勤務地からの私事目的（回遊行動）では、主要な活動の場として立川駅周辺地域が存在します。

この地域には業務機能・商業機能が集積しており、活動の後背圏は立川市南部地域、国立市西部地域が範囲となっています。



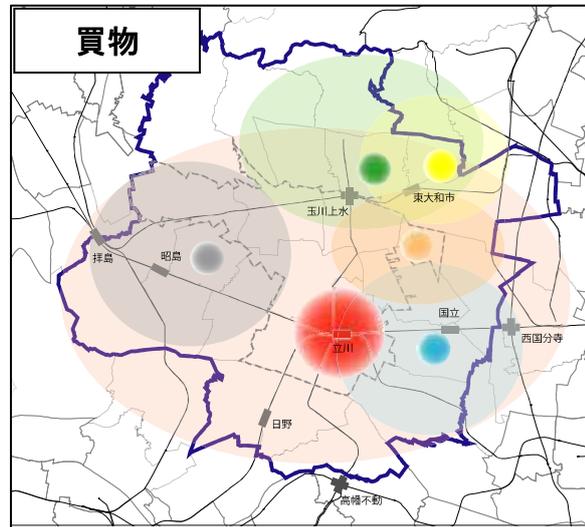
以上、立川都市圏における目的別の「活動の場」と「後背圏」を見てきましたが、立川都市圏では、隣接市から立川市へ行き来する活動や立川市から隣接市へ行き来する活動が認められ、立川市と隣接市は相互に支えられて圏域を形成していることがわかります。

(私事目的を細分類で分析 (買物、食事・社交・娯楽、観光・行楽・レジャー、通院、送迎))

さらに、私事目的については、買物、食事・社交等の細分類による分析が可能であるため、立川都市圏における私事目的の細分類における圏域構造を分析しました。

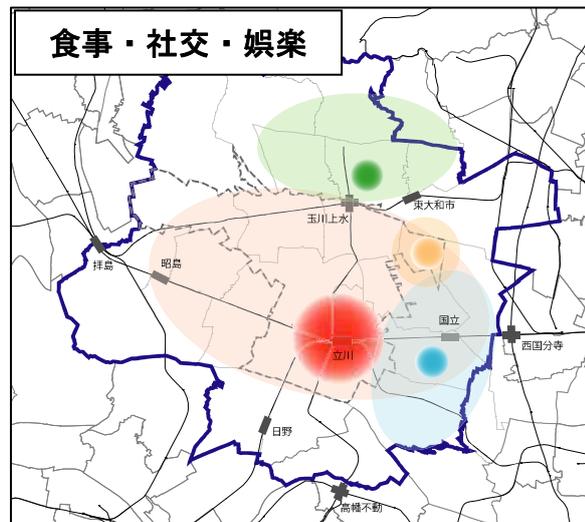
買物

立川駅北部地域は立川都市圏内で最も人が集まる買物の場であり、立川都市圏内のほぼ全域から人が集まっています。そのほかの買物の場としては、立川駅南部地域、国立駅南部地域、昭島駅北部地域、若葉町地域、東大和市南西部地域、東大和市南東部地域がありますが、それら地域には、比較的狭い範囲から人が集まるようになっています。



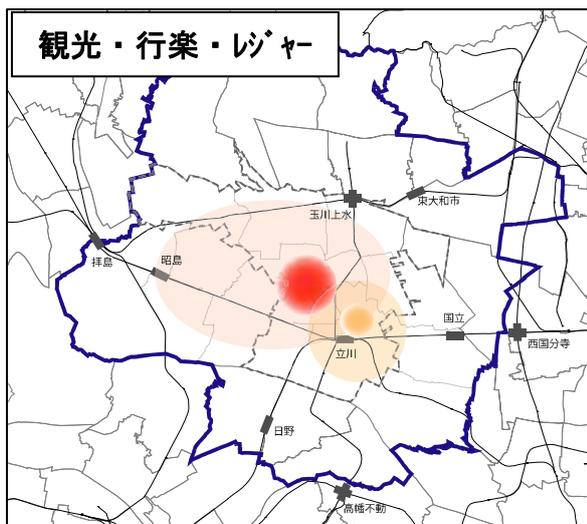
食事・社交・娯楽

昭島駅北部地域、東大和市南東部地域を除けば、全体的な傾向は買物と同様に人が集まっています。



観光・行楽・レジャー

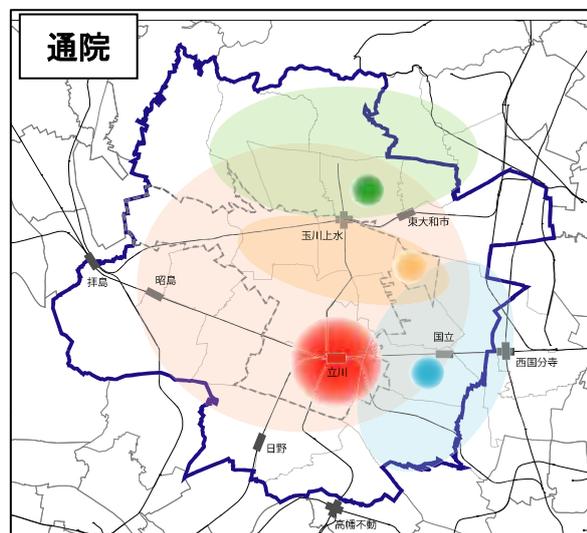
主な観光・行楽・レジャーの場としては、国営昭和記念公園がある緑町・泉町地域、立川駅北西部地域があります。



通院

主要な通院の場として、立川駅南北地域、国立駅南部地域、若葉町地域、東大和市南西部地域があります。

このうち、立川駅南部地域は総合病院が複数あり、多くの人が集まる場となっています。立川駅南部地域には、立川市を含む広い地域から人が集まっています。



送迎

国立駅南部地域、立川駅北部地域への送迎トリップが多くなっています。

この2つの地域への送迎トリップの圏域は西側に広がっていることから、郊外方面から東京都区部方面に向かうトリップが多いものと考えられます。

